



① 表通りの建設中のビル

カンボジアの首都プノンペンの発展の勢いはまだまだ続いており、大規模な投資もドンドン行われています。急激な発展は開発に直接かかわる人々には大きな利益をもたらしますが、その陰で多くの貧しい人々が住むところを追われたり仕事を奪われたりすることも少なくありません。

そんな中で我々の役割の一つは、発展に取り残されそうな人々が貧困から抜け出すために頑張るのをちょっと助けてあげることにもあると思っています。今回紹介するライスマ・ローン利用者も、自分たちの生活を守り、家族がより良い生活を手に入れるために前向きに頑張る家族です。



② 裏はこんな感じです

小学校に通う2人の娘のお母さん、クワンさん、大通りから車で入れない小径を入った場所で、ご主人は仕立て屋を、彼女は屋台の軽食屋を営んできましたが、子供2人を育てるには、これまでいっぱいいっぱいでした。

それが、幸運なことに表通りに左の写真のような巨大なショッピングセンターとコンドミニウムの複合ビルの建設が始まり、家の前の小径も工事用車両が通るために拡張され、クワンさんのお店は建設作業員たちが朝昼晩、大勢で食事に訪れてくれるようになり、大忙しになった

ということ、食器や材料の購入のための資金をライスマで新たに融資することになりました。

ビル建設中の今、建設作業員の食事で一生懸命稼いで、ビルが建った後はショッピングモールに来るお客さんやコンドミニウムに住む人たちが来られるように小奇麗なお店を構えたいと、将来の展望もしっかり考えてます。

小学5年生の娘さんも今年から英語をしっかりと教えてくれる私立の学校に通う様になったそうです、お父さんお母さんのためにもしっかりと勉強してくださいね。



③ 屋台のお店とテラー兼自宅(左)

